

平成29年度事業計画

(公財)こうべ市民福祉振興協会は、「神戸市民の福祉をまもる条例」の理念である市、事業者及び市民の三者が有する人材、資力などを総合的に活用することによって市民福祉を振興するための事業を創造・推進させ、市民福祉の向上に寄与することを目的とした事業を引き続き実施する。

平成29年度は、新たな時代変化の中で、神戸市が目指す「ともに支え合う社会」の実現に向けて取り組むべき方向性を示した「中期経営計画2018」（計画期間：平成27年度から平成30年度の4か年）の3年目であり、引き続きその達成に向けた各種事業に取り組んでいく。

平成29年度事業計画

(各項目左の◎は新規事業、○は事業拡充を示す。)

【公益目的事業】

I 市民の福祉意識の啓発並びに福祉活動の普及及び助長 [公1] 91百万円

福祉資源としての市民の有する力のさらなる活用を図るため、市民に対する福祉意識の啓発や市民の福祉活動を振興する事業を実施する。

1 市民の福祉意識の啓発を図る事業

(1) 情報誌の発行

市民福祉への理解を深めることを目的に、当協会の取り組んでいる事業内容の他、福祉や健康に関する情報を掲載した情報誌「市民ふくし」を発行する。

[発行回数]年6回 [発行部数]各30,000部

(2) ふれあい体験学習

市民の思いやりの心を育むことを目的に、学校・地域団体等を対象に、福祉に関する講義や車いす・アイマスク・白杖等を用いた介護実習及び福祉施設での実習等を行う。

[参加者見込数]計2,800人

(3) ユニバーサルデザインの普及啓発

ユニバーサル社会の実現を目指し、より多くの市民にユニバーサルデザインへの理解を広げていくため、講義やワークショップを通して学ぶ「こうべUD大学」や「夏休み親子UD体験教室」を実施するほか、啓発及び関連団体の取り組みのPRの場である「こうべユニバーサルデザインフェア」等を実施する。

さらに、29年度より新たに市より事業移管を受け、普及啓発活動にともに取り組む市民組織「こうべUD広場(こうべユニバーサルデザイン推進会議)」を支援するとともに、市民ボランティア“こうべUD活動サポーター”とともに、小中学校や地域において出前授業や学習会を行うほか、地域におけるユニバーサルデザインの取り組みをまとめた事例集を発行する。

- ① こうべUD大学 [実施回数]全10回 [定員]50人
- ② 夏休み親子UD体験教室 [実施回数]年2回 [定員]各100人
- ③ こうべユニバーサルデザインフェア [実施回数]年1回 [来場者見込数]10,000人
- ◎ ④ UD出前授業 [実施見込校数]30校
- ◎ ⑤ 地域UD学習会 [実施見込回数]年10回
- ⑥ UDスポット見学ツアーinしあわせの村 [参加者見込数]600人

2 市民の福祉活動の振興

(1) 市民福祉事業・福祉活動助成

市民活動の活性化による福祉都市神戸の創造を目的に、神戸市民の福祉の発展・向上に資する先駆的な事業・活動の実施等に対する助成を行う。

(2) 手話・点訳ボランティアの養成と活動支援

視覚・聴覚障がい者についての理解を深めるとともに、市民ボランティアの育成を目指し、手話及び点字の講座を行うほか、同講座修了者を中心に組織されたボランティア団体に対する運営の支援や活動機会の提供を行う。

また、気軽に手話にふれあうことのできる機会を提供することにより、より多くの市民の手話に対する理解を促進することを目的とした短期手話講習会を実施する。

- ① 手話講座 [実施回数]全40回 [定員]20人
- ② 点字講座 [実施回数]全35回 [定員]20人
- ③ 短期手話講習会 [実施回数]4期(各期4回) [定員]各20人

(3) 市民向け福祉啓発講座

広く福祉にふれる機会を提供することにより、市民の福祉意識の向上を目的とした教室や講座を行う。

① 夏休みこども向け教室

- ア. 手話教室 [実施回数]年1回(全2日) [定員]20人
- イ. 点字教室 [実施回数]年3回 [定員]各20人

② 認知症介護予防教室

- ア. 講演会 [実施回数]年1回 [定員]50人
- イ. 予防教室 [実施回数]年3回 [定員]各20人

3 高齢者や障がい者等の社会参加の支援

(1) 「こうべ長寿祭」の開催等

長寿社会を明るく活力に満ちたものにするため、高齢者のスポーツと文化の振興を図り、高齢者的心身の健康の保持・増進に寄与するとともに、長寿社会における健康と福祉に関する市民の理解を深めることを目的に「こうべ長寿祭」を実施するとともに、神戸市代表選手団を「全国健康福祉祭あきた大会」へ派遣する。

- ① 第30回こうべ長寿祭 [開催期間]4月～11月 [参加者見込数]約3,500人
- ② 第30回全国健康福祉祭あきた大会 [開催期間]9月9日～12日

(2) こころのアート展

障がい者の芸術作品の魅力を広く社会に知っていただくとともに、活躍の場を拓くことを目的に、芸術活動に取り組む障がい者を兵庫県内から公募し、選出された障がい者の芸術作品展及びその自由な表現を体感するワークショップをしあわせの村において開催する。

また、作品をより多くの方に楽しんでいただくため、市内・県内施設において巡回展を開催する。 [展示期間(しあわせの村)]11月9日～30日 [展示作者予定数]10人

(3) 発達の気になる児童に対する支援事業

学校行事等への適応に不安を抱える発達の気になる児童(小学1年生)に対し、事前に体験しておくことにより、その不安を解消する機会を提供する「体験ひろば」を開催するほか、参加児童の保護者に対し、グループワークや交流の機会を提供する支援講座を行う。

また、「体験ひろば」参加者以外の児童と家族を対象に情報交換や交流の機会を提供する。

- ① 体験ひろば [実施回数]全10回×2クラス [定員]各18人
- ② 保護者向け支援講座 [実施回数]年4回 [参加者見込数]延160人
- ③ 発達の気になる子と保護者のつどい [実施回数]年1回 [参加者見込数]40人

○ 4 市民福祉事業の調査研究及び開発

福祉を取り巻く社会情勢の変化に対応しながら、今後の市民福祉の創造・推進に積極的に取り組んでいくため27年度から取り組んできた「戦略会議」における勉強会やプロジェクトチームによる調査・研究活動の成果を踏まえ、平成37年(2025年)を目標とする当協会の針路を内外に発信するための「2025ビジョン」の策定(平成30年度予定)に向けて、学識経験者等による検討委員会を新たに発足し、検討を行う。

II 総合福祉ゾーン「しあわせの村」をはじめとする市民福祉施設の管理運営

[公2] 485百万円

市民の心身の健康や福祉の増進を図るため建設された市民福祉施設における設立理念の実現を目指した管理運営を通して、市民福祉の向上を図る事業を実施する。

A 総合福祉ゾーン「しあわせの村」運営事業

「神戸市民の福祉をまもる条例」の基本理念である「自立と連帶」の実現をめざし、高齢者・障がい者をはじめとするすべての市民があたたかいふれあいの中で思いやりや助け合いの心を育み「つどい」・「楽しみ」・「学び」・「憩う」場としての「しあわせの村」の運営を専門的能力を有する事業者と共同事業体を構成し、指定管理者として行う。

協会は、共同事業体代表法人として、運営全体の総合調整を行うとともに、利用者の安全・安心の確保や施設の維持管理を行う。また、市民福祉の理念の実現のため、福祉事業や市民交流事業の企画・実施等に取り組む。

また、各施設の管理運営については、共同事業体の各構成団体が専門的能力を発揮することにより、互いに連携をとりながら、全体としての利用者サービスの向上や効率的な運営に取り組み、市民福祉の拠点施設である「しあわせの村」の事業運営の充実を図る。

さらに、開村30周年の節目を迎える平成31年度に向けた取り組みについても検討を開始する。

1 障がい者の自立や社会参加を促進するための事業

(1) 障がい者就労支援協働事業

障がい者就労の促進と市民への啓発を目的とした事業を障がい者団体や施設との協働により実施する。

○ ① 農福連携事業

村内で栽培している農作物の生産・加工・流通と障がい者の就労を組み合わせた事業の取り組みとして、平成27年度に販売を開始した「にんじんジュース」に加え、新たな商品開発の検討を行う。

○ ② 「神戸幸品」の販売

村で生産された产品(しいたけ、はちみつ)のオリジナルブランド「神戸幸品」について、引き続き販売促進等の充実を図るとともに、新たな产品の販売を検討する。

③ 缶バッヂ・缶マグネットの製作販売

村内障がい者施設(4施設)による「缶バッヂ☆マグネット製作隊」の受注販売活動を支援する。

④ 神戸芸術工科大学との連携協定事業

27年度に締結した協定に基づき、「神戸幸品」の開発・販売促進に取り組むほか、障がい者施設との連携によるアート作品のワークショップや製品化に向けた検討を行う。

(2) 障がい者就労カフェ

障がい者就労の場の拡充と来村者への福祉意識の啓発を目指し、本館・宿泊館1階において、障がい者と健常者がともに働く障がい者就労カフェの運営を行う。

(3) はっぴねすコーナー

本館・宿泊館及び温泉健康センターにおいて、障がい者施設の授産品やユニバーサルデザイン製品の展示・販売や施設の活動を紹介するコーナーの運営を行う。

(4) ふれあいコンサート

音楽活動を通じた障がい者・高齢者の社会参加や市民とのふれあいの促進を目的に、家族や友人とともに音楽を楽しんでいる障がい者・高齢者のグループや音楽を通じたボランティア活動を行っているグループが出演するコンサートを行う。

[実施回数]年1回(2日間) [出演予定数]計46団体 [来場者見込数]計1,100人

(5) ファミリー日帰りキャンプ

身体・知的障がい児とその家族がキャンプやレクリエーション活動を通じて、参加者同士の交流を深め、リフレッシュできる場を提供する。

[実施回数]年1回 [参加者見込数]30家族・100人

(6) 障がい者スポーツ教室

障がい者の健康増進、心身機能の維持・向上や生きがいづくりを目的に各種スポーツ教室を行う。

[実施種目]水泳、卓球、親子運動あそび、テニス、アーチェリー、ニュースポーツ

[定員]計1,127人

(7) 障がい者スポーツ交流イベント

障がい者と健常者がスポーツを通じて相互理解を深めることを目的に、ともに楽しみ、交流する機会を提供する。

- ① 卓球大会 [実施回数]年1回 [参加者見込数]120人
- ② ニュースポーツ体験 [実施回数]年1回 [参加者見込数]500人
- ③ スイム＆ラン トライアル [実施回数]年1回 [参加者見込数]150人
- ④ しあわせNew Yearマラソン、ふれあいラン [実施回数]年1回 [参加者見込数]計3,000人

○ (8) 東京パラリンピックに向けた選手支援活動等

強化指定選手に対する練習場所の提供や、各種競技団体の強化合宿の誘致のほか、神戸市が推進するホストタウン事業と連携した海外選手の合宿誘致や施設整備に取り組む。

また、市民の障がい者スポーツに対する理解を深めるための広報活動やボランティアとしての参画の呼びかけを行う。

(9) ユニバーサル農園活動

ユニバーサル農園において、レクリエーションや機能回復等の一環として、村内の福祉施設利用者などに野菜の栽培や収穫等の農園活動の体験機会を提供する。

[参加団体数]10団体

2 高齢者の自立や社会参加を促進するための事業

(1) シルバーカレッジの運営

高齢者の豊かな経験を活かして自らの可能性を拓き、その成果を社会へ還元することを目指して、高齢者に学習及び実践活動の場を提供することを目的に、健康福祉、国際交流・協力、生活環境、総合芸術等のカリキュラムの他、地域でのボランティア活動も交えたカリキュラムを実施するとともに、学生ボランティアグループや卒業生が行う社会還元活動に対する支援・協力も行う。

また、さらなる社会還元活動の拡充に向けた運営方法やカリキュラムの編成について検討を行う。

- ・健康福祉コース [定員]100人
- ・国際交流・協力コース [定員]100人
- ・生活環境コース [定員]100人
- ・総合芸術コース [定員]120人

(2) 高齢者体力増進教室

高齢者が自分自身の体力状況を知り、効果的に体力づくり・健康づくりに取り組むきっかけを提供することを目的とした教室を開催する。

[実施回数]全7回×2期 [定員]各15人

(3) 健康いきいき教室

心身機能の維持向上と交流する機会の提供を目的に、軽運動やレクリエーションを中心とした教室を開催する。

[実施回数]10～12回×4期×3クラス [定員]各15人

(4) 高齢者スポーツ教室

高齢者の健康増進、心身機能の維持・向上や生きがいづくりを目的に各種スポーツ教室を行う。

[実施種目]水泳、卓球、バドミントン、テニス、アーチェリー、ニュースポーツ

[定員]計1,975人

3 児童の健全な育成を図る事業

(1) わいわいストリート

シルバーカレッジ卒業生を中心とするNPO法人「社会還元センターグループわ」との協働により、親子で楽しく遊べる昔あそびを行い、世代間の交流の場を提供する。

[実施回数]年1回 [参加者見込数]1,200人

(2) おはなしの会

幼児が絵本や紙芝居にふれ、豊かな感性と創造性を育む機会を提供するとともに、ボランティアへの機会提供による担い手の育成を目的に、読み聞かせの会を開催する。

[実施回数]年延100回 [来場者見込数]計3,000人

(3) 夏休み工作塾

創意工夫し表現することの実体験を通した親子の絆づくりとNPO法人「社会還元センターグループわ」の指導を通じた世代間交流の場を提供する。

[実施回数]年1回 [参加者見込数]500人

(4) ボランティアリーダーと体験するアウトドア

小学生が大学生ボランティアとともに自然とふれあいながらグループワークを中心としたキャンプの体験を通して、仲間同士の助け合いの大切さを学ぶ機会を提供する。

[実施回数]年1回(全3日間) [定員]42人

(5) ちびっこ絵画コンクール

しあわせの村の折々の風景の写生を通して、子どもたちに村の豊かな自然環境を体感する機会を提供する。

また、応募全作品を村内施設に掲示するとともに、優秀な作品については表彰を行う。

[実施回数]年1期 [応募者見込数]200人

4 市民福祉の拠点施設としての施設を維持するとともに活性化を図る事業

(1) 総合的な施設の管理運営

- ① 誰もが安全・安心・快適に利用できるよう、施設の保守・修繕や警備、無料巡回バスの運行等の村内施設の総合的な維持管理を行う。

29年度は新たに共同事業体や村内の医療・福祉施設と連携し、総合防災・防犯計画を策定するとともに、模擬訓練を実施する。

- ② 一年中花がみられ、市民の憩いとリフレッシュの場として人気が高い緑地について、引き続き快適な空間として良好に維持管理する。

- ③ 市民の理解をより一層深めていただくための情報発信や運営改善のためのアンケート調査を行う。

ア. ホームページやメールマガジン、フェイスブック等の様々な広報手段の活用による情報発信

イ. 入村者アンケート調査 [実施回数]年1回(2日間) [有効回答見込数]1,300件

ウ. 登録モニター「村っこモニター隊」による調査 [調査実施回数]年4回

- ④ 障がい者団体への村内管理業務等の委託を通して、障がい者の就労の場の確保を図るとともに、自立や社会参加のための活動を支援する。

ア. 空き缶回収・ゴミの分別回収業務

イ. 温泉健康センター販売コーナーの清掃業務

ウ. 保養センターひよどり周辺の園地管理

エ. 自動販売機の管理

- ⑤ 子育て世代のしあわせの村の利用を支援することを目的とした乳幼児や児童の託児サービスを試行的に実施する。 [実施予定日数]計8日間

(2) 多くの市民が集い、楽しみ、憩い、交流を深めるための事業

① こうべ福祉・健康フェア

市民の福祉意識を啓発し、ボランティア活動の情報提供や健康に関する正しい知識の普及・啓発を図ること目的に、福祉施設・障がい者団体によるバザーや模擬店の他、福祉用具展、各種検診等を行う。

[実施回数]年1回 [来場者見込数]18,000人

② しあわせの村まつり

村内施設や関係団体、近隣地域の参加・協力により、広く市民が交流することを目的に、模擬店、ステージイベント等を行う。

[実施回数]年1回 [来場者見込数]25,000人

③ リサイクルバザー

資源の有効活用を通した市民相互の支え合いと環境意識の啓発を目的に、市民出店者による不用品等のリサイクルバザーを開催する。

[実施回数]年6回 [来場者見込数]計72,000人

○ ④ マンスリーミニコンサート

しあわせの村を訪れる幅広い世代の方々に季節を感じ癒しのひと時を過ごしていただくことを目的に、神戸市混声合唱団によるコンサートを開催する。

なお、より落ち着いた環境で合唱を楽しんでいただけるよう、会場を本館・宿泊館エントランスホールから研修館ホールに会場を変更する。

[実施回数]毎月1回 [来場者見込数]計3,600人

⑤ 村の魅力ある自然環境を楽しむ催しの開催

ア. 夜桜ライトアップ

4月の開花にあわせ、日本庭園を夜間開放し、シダレザクラ等のライトアップを実施する。 [実施回数]年1回(3日間) [来場者見込数]1,000人

イ. 緑のオリエンテーリング

村の豊かな自然環境を体感しながら、クイズラリーなどを楽しむオリエンテーリングを実施する。 [実施回数]年2回 [参加者見込数]計300人

ウ. ホタルのタベ

日本庭園を夜間開園し、自生するヘイケボタルの光を楽しむ鑑賞会を開催する。

[実施回数]年1回(3日間) [来場者見込数]1,500人

エ. 植物散策会

村内の様々な植物を観察する散策会を開催する。

[実施回数]年2回 [参加者見込数]計50人

(3) しあわせの村ボランティア

① しあわせの村での事業に大学生から高齢者までボランティアの参画を広く求め、活動の場の提供と支援を行う。

ア. 協会事業の運営補助

イ. 障がい児、障がい者向けスポーツ教室の補助

ウ. おはなしの会（再掲）

エ. 花壇のデザインや植え付け・手入れ等

オ. 自主企画イベントの実施

‣ 読み聞かせ [実施回数]年4回 [参加者見込数]120人

‣ 運動あそび [実施回数]年5回 [参加者見込数]120人

‣ 自主企画 [実施回数]年10回 [参加者見込数]2,850人

② ボランティア活動への動機付けやスキルアップのための研修会を開催する。

[実施回数]年4回

○ (4) ユニバーサルデザインの推進

高齢者や障がい者の利用割合が高い施設の特性を考慮しながら、協会において策定した「しあわせの村ユニバーサルデザイン推進指針」に基づき、当事者の意見を活かしながら検証し、誰にでもやさしい「村」づくりを進める。

29年度は28年度に策定したUD基本構想におけるUD整備計画について、当事者の参画を得ながら、実施設計に向けた検討を行うほか、しあわせの村サイン計画の策定や28年度に開発したUD情報提供コンテンツシステムを活用した屋外型タッチ式デジタルサイネージナビの設置に取り組む。

B 平磯児童館の運営

児童に健全な遊びの場を提供し、その健康を増進し、または情操を豊かにする活動を通じて地域における市民福祉の向上に寄与することを目的に、指定管理者として運営を行う。

① 児童健全育成事業

自由来館児童への遊びの提供・指導、季節行事、在宅福祉センターや地域福祉センターの高齢者との交流会等を実施する。

② 子育て支援事業

- ・「幼児の会」(毎週1回)

2~5歳児の親子を対象にした手遊び等のプログラムを実施する。

- ・「ミニミニっ子」(毎月1回)

0~5歳児の親子を対象にした手遊び等のプログラムを実施する。

- ・「すくすくひろば」(毎月1回)

0~5歳児の親子同士の交流を図るための季節行事等のプログラムを実施する。

[来館者見込数] 延8,400人

III 介護保険制度の公正・公平な運営を確保するための事業[公3] 283百万円

指定市町村事務受託法人として、市内全域における介護保険サービスの受給を新たに申請する市民及び要介護度の変更を申請する市民に対して訪問・調査を行う「要介護認定調査業務」を市からの受託により実施する。

[調査見込件数] 約32,000件

【収益事業等】

指定管理施設に付帯する便益施設及び市民福祉施設等の運営 383百万円

1 しあわせの村

(1) 便益施設の運営

- ① 有料駐車場の管理運営 [(有料)利用見込台数] 326,000台
- ② 飲料等自動販売機及び公衆電話の設置運営
- ③ 野菜・鮮魚等直売所(しあわせマルシェ)の運営
- ④ 貸館 (シルバーカレッジ内ホール等、日本庭園内茶室)

(2) 東日本大震災被災地交流・支援活動

被災地障がい者施設の授産品の販売やメッセージカードの送付による交流・支援活動を継続して行う。

2 保養センター太山寺・ラジウム温泉太山寺

市民の健康の保持・増進を図るために建設した同施設について、公募により選定した民間事業者により運営を行う。 [利用者見込数] (宿泊) 13,000人 (温泉) 262,000人

3 福祉用具リサイクル事業

身体障がい者や高齢者の在宅生活を支援するため、福祉用具のリサイクル事業を行う。

4 サン舞子マンション

平成23年度に社会福祉法人へ事業を承継したが、引き継いだ入居者に対する相談対応や入居預り金の管理を引き続き行う。